

ピアスの合わない体質の方は、ピアッシングができないことがございますことを、ご了承ください。また、体質によってはあとかた（癬痕）を残すことがあります。

☆ピアッシング当日より

- ・ピアッシング後の痛みは、通常1時間ほどでなくなります。
- ・シャンプーは当日からして頂いてかまいませんが、十分に洗い流して下さい。
- ・ピアスの穴が完成するまでは、ピアスの付け外しをせず、刺激を避けて下さい。
- ・ファーストピアスが入っている間は、サウナや岩盤浴はお控え下さい。
- ・しばらくは、当院でお渡しする消毒液にて1日2回消毒を行なってください。

☆ピアッシング後2週間まで

- ・水泳の後は、きれいな水でピアッシングの部位をよくすすぎ、水分を拭き取って下さい。

☆ピアッシング後5週間頃まで

- ・5週間程度までは、パーマやカラーリングなど、刺激の強いものにつかないようにご注意下さい。
- ・最低でも2ヶ月間は、ファーストピアスを外さないで下さい。
- ・2ヶ月が過ぎ、ピアスの穴がジクジクしていなければ、市販のピアスに替えて頂いてかまいませんが、2-4ヶ月の間は時々ファーストピアスを使用して下さい。また、市販のピアスに替えてからも、穴が落ち着くまで（2週間程度）は、トラブルを起こしていないかどうか経過をよくご確認下さい。
- ・下記に示すようなピアストラブルが起こった際には、1日に2回、消毒液でピアスの穴を消毒して、なるべく早くに受診してください。
・触れると痛い ・熱をもっている ・赤く腫れてきた ・ウミが出ている
- ・2週間経過後から消毒の際は、ピアスの穴の前後に消毒液を付けて、ピアスをゆっくりと前後に動かして下さい。
動かすことで、表面についた消毒液がピアスの穴にいきわたります。
- ・よくあるトラブルとして、ピアスの入れ替えの際に傷つけてしまい、化膿したり、ピアスをしばらく外していたために穴がふさがってしまうといったことがあります。十分にご注意下さい。
- ・ピアスを開けた方は、1ヶ月間は献血ができませんのでご注意下さい。
(医療機関外で開けると、1年間は献血ができません)